

業務機能要件確認書

※『必須項目』欄が○となっている項目については、当市の必須要件になりますので、1項目でも「対応不可」にてご回答いただいた場合は、自動的に本プロポーザル失格とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

※カスタマイズ(有償対応)により対応可のものについては「2.対応不可」を選択してください。

ただし、システム利用開始時までにパッケージのバージョンアップ(保守対応)で対応可のものについては「1.対応可」を選択してください。

| 防災システム | | | | | |
|-----------|--|-----------|--------------------|-----------------------------------|----|
| No. | 質問項目 | 回答欄 | 回答方法 | 備考欄(回答に対し、一部例外や補足等がある場合に追記してください) | 必須 |
| ◆システム基本機能 | | | | | |
| 1 | 特別な知識を持たない職員にとっても使いやすいように、画面構成や入力操作の共通性及び検索機能の充実した操作性の優れたシステムであること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 2 | 現在管理している避難行動要支援者関連のデータを新規システムに移行すること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 3 | クライアント端末の操作において、排他制御が適切であること。 同一対象者を複数のクライアントで編集等をおこなう際に注意喚起がなされるような排他制御の機能を実装すること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 4 | システムにログイン中のユーザ名を管理者が確認できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 5 | システム内で管理するすべての項目をもとに、職員が自由に条件や表示項目を設定しデータ抽出できること。また、それらの条件を保存し再利用できること。抽出したデータはCSV形式により出力できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 6 | 抽出は、最新履歴のみと履歴全件を選択して行えること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 7 | 抽出結果は並び替えや検索ができること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 8 | システム内で管理するすべての属性項目をもとに、クロス表示による集計結果が得られること。集計結果はCSV形式により出力できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 9 | 本市が用意する各マスターデータ(民生委員、町内会自治会、ハザードマップなど)をシステムへセットアップすること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 10 | 各マスタの登録・修正・削除が一括または個別ででき、コード管理をすることができること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 11 | 住記宛名番号とは別に避難行動要支援者にそれぞれ個人を特定するための「登録番号」を自動で付すること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 12 | 住記情報・介護認定情報(要介護・要支援等)・障害者手帳情報(身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳、障害等級・種別等)のCSVファイルをバッチ処理にて定期的に取り込めること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 13 | 避難行動要支援者の対象要件区分は、町田市独自の仕様に設定できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 14 | データ連携により避難行動要支援者の対象要件区分が変更になった場合も自動で更新ができること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 15 | データ連携は、住記宛名番号をキーとして取り込み、エラーの者は一覧でデータ出力できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 16 | 住記情報等と名簿管理システムで取り込むデータについて形式等の変更が生じる場合は、受注者の負担により変換プログラム等を開発する。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 17 | 連携処理については、自動更新と手動により実施できること。自動更新を実施する場合は、更新期間(日次、週次、月次)の設定がおこなえること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 18 | 連携処理については指定のレイアウトでのファイル渡しとなり、取込対応できること。(住記、介護、障害) | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 19 | 既存登録者で、要介護度や障害等級等に変更が生じている方は、自動で最新情報へ更新をおこなうこと。また、更新前の情報は、履歴情報として自動的に保存されること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 20 | 既存登録者が転出または死亡した場合は、自動的に廃止処理をできること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 21 | 避難行動要支援者情報の更新(新規対象者、支援事由、市内転居、死亡)を確認できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 22 | システムに登録してある全ての属性情報(避難行動要支援者情報及びマスターデータ等全ての属性情報)を、ベンダーによる作業を介さずに職員がシステム上でCSV形式に出力できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 23 | 避難行動要支援者の住所・居所のデータを、ベンダーによる作業を介さずに職員がシステム上でSHAPEファイルに出力できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 24 | マスターデータ(民生委員、町内会自治会、自主防災組織等)に紐づく担当区域データを、ベンダーによる作業を介さずに職員がシステム上でSHAPEファイルに出力できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 25 | 項目のカーソル位置によって、全角、半角、カナ等が自動で切り替わること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 26 | 必須項目・任意項目が色で識別されていること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 27 | 誤入力防止のため、入力値について更新前に論理的チェック(整合性チェック)がかかること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 28 | 日付入力項目はカレンダー入力ができること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 29 | 日付入力項目については、元号と年月日を別々の項目で入力することなく、一連で入力できること。(明治:1・大正:2・昭和:3・平成:4・令和:5として、「4300101」で平成30年1月1日と入力できること) | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 30 | 住記住所とは別に送付先を個別に設定でき、設定している場合は帳票の宛先に送付先用の情報が印字されること。 管理項目は以下の通り。 郵便番号、住所、方書、カナ氏名、漢字氏名、本人との関係等 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 31 | 住登外者の登録・更新・削除ができること。登録の際は、住民記録システムから連携された宛名と重複しない宛名番号を自動で付番すること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 32 | 住民基本台帳上の住所と実際に住んでいる住所(施設、仮設住宅など)が異なる場合に両方の情報を管理できること。郵送物の宛先を任意に選べること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 33 | 連絡先情報を管理できること。管理項目は以下のとおり。 自宅電話番号、携帯電話番号、勤務先、勤務先電話番号、メールアドレス、緊急連絡先カナ氏名、緊急連絡先漢字氏名、緊急連絡先本人との関係、緊急連絡先電話番号、緊急連絡先携帯電話番号、緊急連絡先メールアドレス ※緊急連絡先は3件以上登録できること | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 34 | 住記情報取扱注意対象者(住民基本台帳上の支援措置申請者や、支援措置申請はしていないがそれに準ずる者(ストーカー・児童虐待等))は、フラグを立てて管理できること。また、対象者は背景色が変わるなど、視覚的に明示できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 35 | 個別対応フラグを立てられ、個別対応の内容をメモとして管理できること。また、対象者は背景色が変わるなど、視覚的に明示できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 36 | 住登外者が住登者になった場合など、履歴含め宛名個人コードだけを付け替える機能を有していること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |

| No. | 質問項目 | 回答欄 | 回答方法 | 備考欄(回答に対し、一部例外や補足等がある場合に追記してください) | 必須 |
|------------------------|---|-----------|--------------------|-----------------------------------|----|
| 37 | 住民の検索画面は、住民番号・かな(カナ)氏名・漢字氏名・生年月日・住所・電話番号、避難行動要支援者の要件等で検索できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 38 | 住所検索より同一住所の個人を検索し、画面で一覧表示および並び替えができること。方書一致・方書あいまい検索による対象者の絞り込みができること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 39 | 検索結果が複数存在する場合には、画面に一覧表示し、その中から選択できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 40 | 過去に検索に使用した条件を保存でき、容易に再検索できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 41 | 住民区分が除票(死亡・転出等)であるかが画面上一目でわかること。また、除票者は背景色が変わるなど、視覚的に明示できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 42 | 世帯情報の参照ができること。 ※同一世帯の名簿対象者を抽出、参照できること | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 43 | 世帯員一覧から個人を選択し、個人情報の詳細を表示できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 44 | システムで管理される個人ごとに、メモ情報の入力ができること。また、入力されたメモ情報は履歴も含めて参照できること。 管理項目は以下の通り。 入力日、入力時間、入力担当者、内容 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 45 | PDFやJPEG等の画像ファイルを対象者に関連付けてシステム内に取り込み、閲覧できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 46 | 台帳画面で新たに検索指定等を行うことなく、対象者すべての情報を照会できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 47 | 帳票の新規追加および様式のレイアウトや文字の変更は、職員がExcelを利用して容易に行えること。または帳票の変更については柔軟に対応すること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 48 | 郵送戻りの管理が個人ごとに可能であること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 49 | 全ての帳票について、プリンター印刷の他にPDF形式データ及びエクセル形式によるファイル出力ができること。また、帳票に記載する情報についてCSV形式によるファイル出力ができること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 50 | 印刷プレビューができること。また、出力するプリンター、印刷範囲(ページ指定)、部数の指定ができること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 51 | 宛名ラベル及び窓あき封筒用帳票の作成ができること。また、システムに登録されている複数の情報を組み合わせて印刷対象者を抽出できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 52 | 住所、氏名等について、システムに登録されていない文字が含まれている場合又は各種帳票に印字しきれない場合は、当該項目を空欄として出力することができること。その際、対象者リストを別途印刷すること。また、画面についても、同様の確認ができること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 53 | 地図の拡大・縮小・スクロールの機能を有していること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 54 | 住所、目標物などによる地図検索ができること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 55 | データ連携時に一括してアドレスマッチングができること。 なお、自動登録ができない場合は、対象者が一覧表示でき、職員がマウスで指示した位置で確定登録できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 56 | 発注者が貸与するGISデータ(SHAPE形式、DM形式、メッシュデータ等)を取り込めること。取り込み時にエラーがあった場合、エラーリストが出力されること。取り込みの対象となるデータは、ハザードマップ、地番図等となる。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 57 | ハザードマップデータを取り込む場合、ハザードの種別により選択ができること。ハザードの種別によりそのエリア内に所在する避難行動要支援者の一覧を表示できること。 ハザードの種別は以下の通り。 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域 浸水予想区域 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 58 | 避難行動要支援者の住所(居所)を地図上で特定し、職員が指定する避難行動要支援者の属性情報を3つ以上(カナ氏名、漢字氏名および住所(方書含む)、性別、年齢、生年月日等)ラベル表示できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 59 | 地図上に家屋がない場合でも避難行動要支援者台帳の情報と紐づけ登録が行えること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 60 | 集合住宅等で、同一住所に複数の避難行動要支援者がいる場合は、ラベルを重ねられないよう表示できること。ラベルが重ならないよう表示するための調整は自動で行えること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 61 | 地図上に表示された避難行動要支援者の家屋やラベルをクリックして、当該要支援者の台帳情報に遷移できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 62 | 避難行動要支援者の地図情報に避難経路を登録・変更できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 63 | 民生委員や自主防災組織、避難拠点等、管理単位ごとに避難行動要支援者の地図印刷が行えること。また、地図印刷の際、対象者を選択できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 64 | 地図は、民生委員担当区域や自主防災組織担当区域等の区域設定されているもののうち、任意の区域を選択し印刷できること。民生委員担当区域は区域番号を表示できること。該当区域が収まるようエリアの規模によって印刷方法の自動調整(縮尺の変更や分割印刷等)がされること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 65 | 分割印刷した際は、図郭名がわかるよう、索引図を印刷できること。索引図上で分割印刷した図郭がわかるよう当該箇所を図郭を強調表示すること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 66 | システム管理者等が、バッチ処理やメンテナンスの予定といった各種お知らせをシステム画面上に掲示する等して、利用者に周知できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| ◆避難行動要支援者名簿管理機能 | | | | | |
| 67 | 異動年月日・更新年月日が入力できること。 ※更新年月日は処理日が初期入力されていること | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 68 | 避難行動要支援者名簿の解除理由区分を設定できること。 ※解除理由区分はマスタ管理できること。 ※解除理由区分マスタの初期値は、「死亡」・「転出」・「施設入所」・「長期入院」・「条件離脱」・「職権」・「その他」とする。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 69 | 身体状況を入力できること。 入力項目は以下のとおり。 身体障害者手帳総合等級、身体障害者手帳種別、要介護度、療育手帳等級、精神障害者保健福祉手帳等級、難病名、人工呼吸器使用情報、支援区分等 ※基幹システム等から連携したデータに該当する属性情報が含まれている場合、自動で入力されていること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |

| No. | 質問項目 | 回答欄 | 回答方法 | 備考欄(回答に対し、一部例外や補足等がある場合に追記してください) | 必須 |
|--------------------|--|-----------|--------------------|-----------------------------------|----|
| 70 | 利用している福祉サービス情報を複数入力できること。 入力項目は以下のとおり 障害(通所、入所、計画相談)・介護(通所、入所、居宅介護)事業者コード、事業者名、事業者住所、事業者電話番号、サービス種類コード、サービス種類 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 71 | 特記事項を入力できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 72 | 避難行動要支援者の基本情報や支援事由、緊急連絡先等とは別に、任意の拡張項目を複数設定できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 73 | 個別避難計画作成状況(作成済・作成中・未作成など)の登録ができること。作成年月日の登録ができること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 74 | 更新履歴情報を保持し、参照できること。変更箇所は背景の色などにより一目でわかること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 75 | 手で登録及び更新を行う際は、あらかじめ住記情報や手帳情報等の初期値が入力されているほか、論理チェックを行い、論理的に矛盾するデータをエラー表示し、修正を促すコメントを表示すること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 76 | 避難行動要支援者名簿の管理画面から、個別避難計画の管理画面に遷移できること。または同一画面内で個別避難計画情報も管理できること。その際、避難行動要支援者名簿情報と個別避難計画情報を分けて管理できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 77 | 基幹システム等から連携された情報により、身体状況に変更があった場合(手帳等級の変更・要介護度の変更など)、自動で身体状況が更新されること。 ※あわせて異動年月日・更新年月日・異動内容区分も自動入力されること。 ※更新履歴が残ること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 78 | 死亡・市外転出による住民データの異動があった場合、自動で名簿からの登録解除処理が行われること。また、登録解除結果を一覧で出力できること。 ※あわせて異動年月日・更新年月日・解除理由区分も自動入力され、登録区分は空白に置き換わること。 ※更新履歴が残ること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 79 | 名簿の配布先(町田警察署、町田消防署、市社会福祉協議会、民生・児童委員、町内会・自治会・自主防災組織など)を指定し、避難行動要支援者を抽出し、避難行動要支援者名簿の作成がおこなえること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 80 | 避難行動要支援者名簿は、氏名、生年月日、性別、住所(居所)、電話番号、その他の連絡先、特記事項等、市の指定する項目を印字し、市の指定する様式で作成できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 81 | 住基情報取扱注意対象者フラグが立っている人は、名簿への表示制限や別ファイルで名簿出力できる機能を有すること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 82 | 名簿印刷は、時点を設定して印刷することができること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 83 | 各種避難行動要支援者名簿のPDFデータは、1ファイルにまとめて出力したうえで、管轄が変わったら改ページすること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| ◆個別避難計画管理機能 | | | | | |
| 84 | 個別避難計画は、「基本シート」、「地震シート(簡易版・通常版)」、「風水災害用(簡易版・通常版)」、「在宅人工呼吸器使用者シート」が登録・管理できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 85 | 作成年月日・異動年月日・更新年月日が入力できること。 ※更新年月日は処理日が初期入力されていること | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 86 | 町田市様式の個別避難計画(緊急連絡先、支援者・支援内容・避難場所・避難所・避難方法・避難経路等)の登録ができること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 87 | 個別避難計画作成の同意区分を設定できること。 ※同意区分は「同意あり」・「同意なし」・「同意未確認」とする。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 88 | 個別避難計画情報の外部提供への同意区分を設定できること。 ※同意区分は「同意あり」・「同意なし」・「同意未確認」とする。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 89 | 個別避難計画の廃止理由区分を設定できること。 ※廃止理由区分はマスタ管理できること(避難行動要支援者名簿の解除理由区分マスタとの共通管理で構わない) | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 90 | 個別避難計画の異動内容区分を設定できること。 ※異動内容区分はマスタ管理できること ※異動内容区分マスタの初期値は、「支援理由の変更」・「身体状況の変更」・「暮らしの状況の変更」・「避難に必要なものの変更」・「避難支援者の変更」・「避難先の変更」・「特記事項の変更」・「その他の変更」とする。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 91 | 避難先について、マスタ管理している避難拠点から管理項目を自動入力できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 92 | 避難支援者の宛名が住記情報に存在する場合、照会画面を表示し同一人物であれば管理項目を一部自動入力できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 93 | 計画作成者の宛名が住記情報に存在する場合、照会画面を表示し同一人物であれば管理項目を一部自動入力できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 94 | 個別避難計画書で計画作成者が記入する項目について、CSVデータによりシステムへ一括取込し反映できること。取込ができなかったものや論理的エラーがあったものについては、エラーリストに出力されること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 95 | 個別避難計画に対しては、基幹システム等から連携された情報により、身体状況に変更があった場合(手帳等級の変更・要介護度の変更など)でも自動で身体状況が更新されないこと。(名簿は更新されるが個別避難計画の内容は自動で更新されないようにする。) | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 96 | 死亡・市外転出による住民データの異動があった場合、自動で計画の廃止処理が行われること。また、廃止結果を一覧で出力できること。 ※あわせて異動年月日・更新年月日・廃止理由区分も自動入力されること。 ※更新履歴が残ること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 97 | マスタ管理する施設住所への転居による住民データの異動があった場合、自動で計画の廃止処理が行われること。また、廃止結果を一覧で出力できること。 ※あわせて異動年月日・更新年月日・廃止理由区分も自動入力されること。 ※更新履歴が残ること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 98 | オンラインで更新を行う際は、論理チェック(整合性チェック)を行い、論理的に矛盾するデータをエラー表示し、修正を促すコメントを表示すること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 99 | 指定した期間内に個別避難計画情報が新規に入力された人について、個別避難計画書を作成できること。 ※PDFデータ・Excelデータ・CSVデータ(リストのみ)で作成できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 100 | 上記について、選択方式の他に一括作成もできること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 101 | 個別避難計画書は、氏名、生年月日、性別、住所(居所)、電話番号、その他の連絡先、支援が必要な理由、特記事項等、発注者の指定する項目を印字し、発注者の指定する様式で作成できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 102 | 本人、地域から提出された個別避難計画(原本)等は、PDF化して、システム内で個人に紐づけて管理できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |

| No. | 質問項目 | 回答欄 | 回答方法 | 備考欄(回答に対し、一部例外や補足等がある場合に追記してください) | 必須 |
|----------------|---|-----------|--------------------|-----------------------------------|----|
| 103 | 住記データの取扱注意対象者フラグ対象者は、計画書を分けて出力できる機能を有すること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| ◆安否確認機能 | | | | | |
| 104 | 災害名や発生日時を入力し、災害ごとに被災状況や安否確認情報が管理できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 105 | 過去の被災状況や安否確認結果情報が履歴として管理できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | |
| 106 | 災害ごとかつ避難行動要支援者ごとに、安否確認結果を入力できること。 入力項目は以下のとおり。 安否確認結果(無事・負傷・死亡)・安否確認日時・安否確認場所・安否確認者・備考 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 107 | 安否確認結果は、システム外部で作成したCSVデータによるシステムへの一括取込にも対応できること。取込ができなかったものや論理的エラーがあったものについては、エラーリストに出力されること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 108 | 災害ごとに、安否確認結果入力済の人の安否確認結果リストが出力できること。 ※PDFデータ・Excelデータ・CSVデータ(リストのみ)で作成できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| 109 | 災害ごとに、安否確認結果未入力の人々の安否未確認者リストおよび地図が出力できること。 ※地図には未確認者の情報のみ載せること。 ※PDFデータ・Excelデータ・CSVデータ(リストのみ)で作成できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |
| ◆帳票作成機能 | | | | | |
| 110 | 避難行動要支援者情報の入力画面から、避難行動要支援者名簿、個別避難計画書、同意書、更新依頼書等を帳票として印刷できること。 | (リストから選択) | 1.パッケージで対応可、2.対応不可 | | ○ |